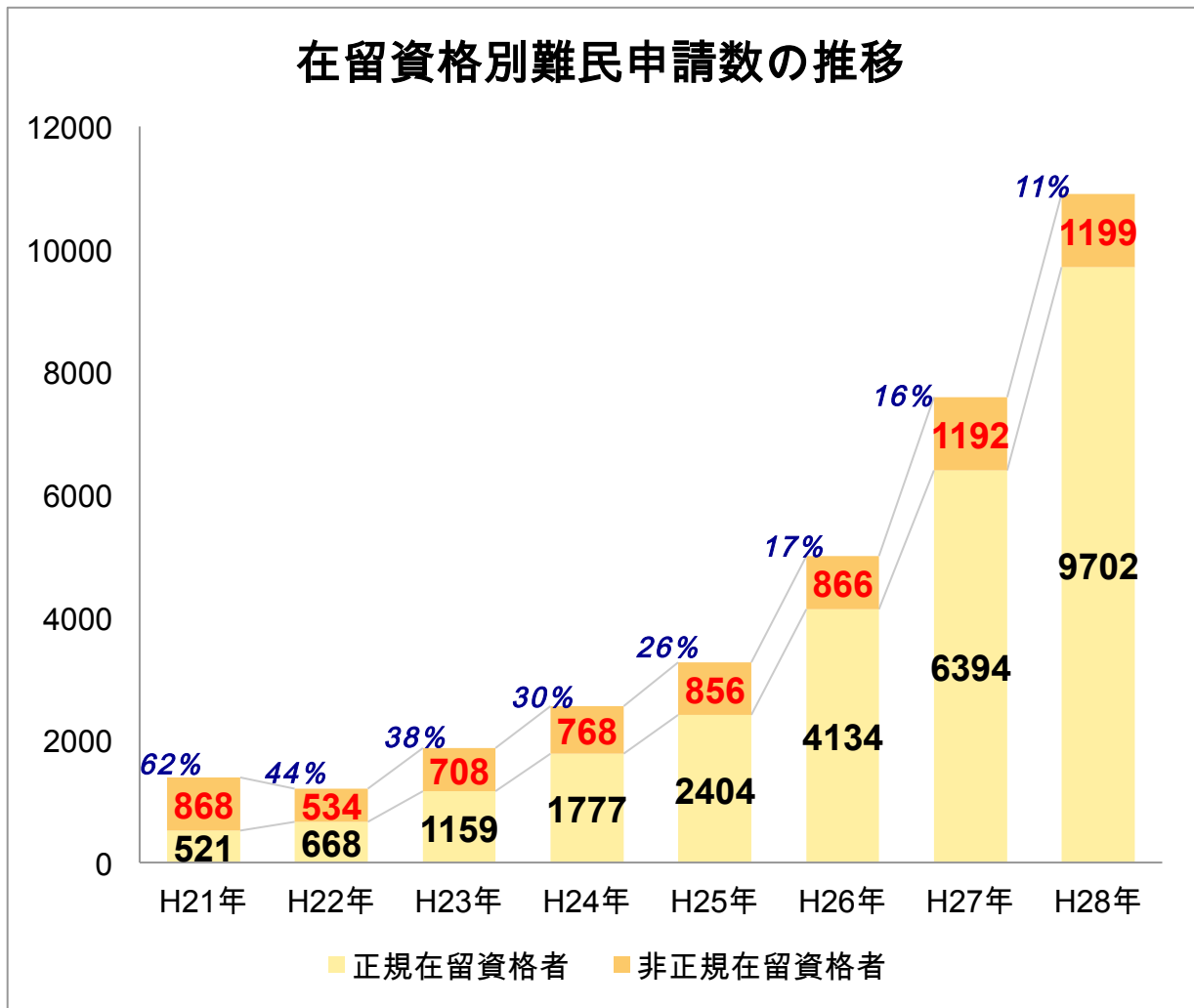


1. 在留資格別の難民認定申請者数

難民認定申請全体では（再申請を含む）、申請時に非正規在留であった者の割合は減少傾向にあります。一方、難民認定再申請者の非正規在留の割合は、平成26年で約32%、平成27年で約38%と微増しています。

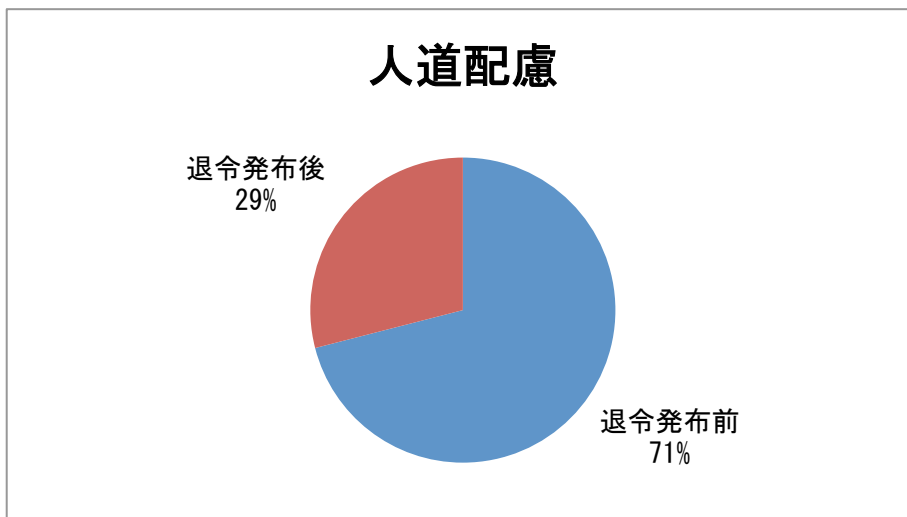
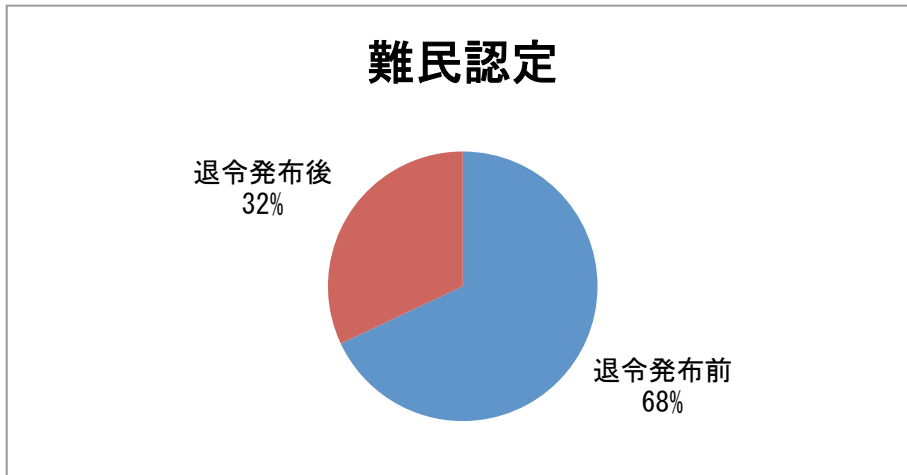


<法務省統計よりなんみんフォーラム作成>

- * 「正規」は難民認定申請時に在留許可を有していた者（特例上陸許可期間中の者を含む。）であり、「非正規」は在留許可を有していない者を指す。
- * また、在留資格は、申請者が難民認定申請時に有していた在留資格に基づいて計上している。

2. 難民認定、人道配慮で保護された総数の在留資格状況

難民認定、人道配慮による在留許可を受けた者は、ともに約3割が退去強制令書（退令）を
発布されており、在留資格を持っていませんでした。



難民認定（人）		人道配慮（人）	
退去強制令書発布前	124	退去強制令書発布前	1309
退去強制令書発布後	58	退去強制令書発布後	526